

第5学年 書写 「文字の組み立て方(中と外)と穂先の動き」【道】

本單元における学習者用端末の利活用

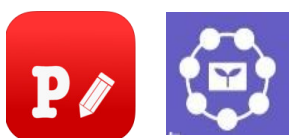
○手だて

・漠然と「美しい字を書く」とするのではなく、児童自身がどこに気を付けるべきか意識しながら書字できるようにしたいと考えた。そこで、自分が書いた字と手本を細かく見比べられるように、画像を透かして重ねる方法を提示した。 →個別最適な学び

・そうして把握した自身の課題を友達に紹介し共有することで字形の理解を深められるようにした。

→協働的な学び

○使用したアプリやコンテンツ



本時の展開

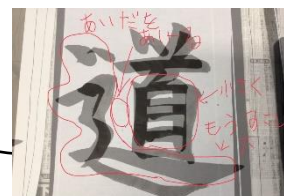
【ねらい:『しんにょう』と中の部分の組み立て方を理解する】

	分	主な学習活動
導入	5	1 本時のめあてを確認する。 2 課題字【道】の書き順を確認する。
展開	37	3 道という字について注意すべきところをグループで話し合う。 4 話し合った点を意識しながら書字する。 5 自分の書いた字と手本を見比べて自分の課題を認識する。
まとめ	3	6 清書する際に自分はどこに気を付けて書くのかを友達に説明する。

<学習者用端末の利活用>



<学習者用端末の利活用>



成果と課題

手本と重ねて見ることによって、字形が整っているかだけでなく、余白や字の大小、傾き等にも目を向けて考えられている児童が多かった。特に普段の書字に課題がある児童ほどよく観察をしていた。

Phonto 機能については事前に使い方を練習しておく必要がある。